

平成26年3月定例会会議録（第4号）

平成26年3月7日 金曜日 午前10時00分開議

小 関 勝 助 議 長 大 道 寺 信 副議長

出 席 議 員 （16名）

1番	赤 間 泰 広	議員	2番	梅 津 善 之	議員
3番	江 口 忠 博	議員	4番	今 泉 春 江	議員
5番	小 関 秀 一	議員	6番	竹 田 博 一	議員
7番	我 妻 昇	議員	8番	大 道 寺 信	議員
9番	蒲 生 光 男	議員	10番	町 田 義 昭	議員
11番	佐々木 謙 二	議員	12番	安 部 隆	議員
13番	渋 谷 佐 輔	議員	14番	高 橋 孝 夫	議員
15番	大 沼 久	議員	16番	小 関 勝 助	議員

欠 席 議 員 （0名）

説 明 の た め 出 席 し た 者

内 谷 重 治	市 長	遠 藤 健 司	副 市 長
中 井 晃	総 務 課 長	齋 藤 環 樹	財 政 課 長
鈴 木 一 則	企 画 調 整 課 長	青 木 邦 彦	税 務 課 長
松 本 弘	市 民 課 長	梅 津 明 夫	健 康 課 長
松 木 幸 嗣	福 祉 生 活 あ ん し ん 課 長	種 村 正 一	子 育 て 支 援 課 長
平 英 一	会 計 管 理 者 兼 会 計 課 長	堀 越 俊 一 郎	監 査 委 員
加 藤 弘 二	教 育 委 員 長	加 藤 芳 秀	教 育 長
遠 藤 誠 一	選 挙 管 理 委 員 会 委 員 長	鈴 木 榮 一	農 業 委 員 会 会 長
孫 田 邦 彦	農 林 課 長	梅 津 和 士	商 工 振 興 課 長
鈴 木 広 弥	観 光 振 興 課 長	宇 津 木 正 紀	建 設 課 長
浅 野 敏 明	ま ち ・ 住 ま い 整 備 課 長 管 理 課 長 兼	渡 部 政 明	上 下 水 道 課 長
遠 藤 敏 男	学 校 給 食 共 同 調 理 場 長	齋 藤 理 喜 夫	文 化 生 涯 学 習 課 長
佐 藤 孝 博	生 涯 ス ポ ー ツ 課 長	高 橋 徹	選 挙 管 理 委 員 会 事 務 局 長
児 玉 行 宏	監 査 委 員 会 事 務 局 長	鈴 木 隆 政	農 業 委 員 会 事 務 局 長

鈴木 智 消防主幹

渡部 和裕 生涯スポーツ課補佐

事務局職員出席者

飯澤 常雄 議会事務局長

小林 克人 補佐

鈴木 和夫 議事調査係長

安達 洋司 主任技士

議事日程（第4号）

平成26年3月7日 金曜日 午前10時00分開議

日程第 1 市政一般に関する質問

5番 小 関 秀 一 議員

8番 大道寺 信 議員

7番 我 妻 昇 議員

2番 梅 津 善 之 議員

本日の会議に付した事件

議事日程（第4号）に同じ

開 議

○小関勝助議長 おはようございます。

これから本日の会議を開きます。

本日の会議に欠席の通告議員はございません。よって、ただいまの出席議員は、定足数に達しております。

本日の会議は、配付しております議事日程第4号をもって進めます。

日程第1 市政一般に関する質問

○小関勝助議長 日程第1、市政一般に関する質問を昨日に引き続き行います。

それでは、順次ご指名いたします。

小関秀一議員の質問

○小関勝助議長 順位11番、議席番号5番、小関秀一議員。

(5番小関秀一議員登壇)

○5番 小関秀一議員 おはようございます。一般質問3日目、トップバッターで質問をさせていただきます。

まず、質問に先立ちまして、通告しておりました項目で記載ミスがありましたので、ご訂正方お願いします。第1項の(3)山林の管理システム、GPSと記載しておりましたが、記載ミスでGISの間違いでありますので、訂正をお願い申し上げます。

さて、3月に入りまして、きのう、きょう、

少し寒い日が続いておりますけれども、昨日は啓蟄ということで、恐らく生き物、特に土の下から芽吹きも始まっていることだろうなというふうに思います。また、生活面では、当然3月は別れや新しい暮らしのスタート、さまざまな分野で新しい季節を迎える準備が始まるのだろうなというふうに期待も申し上げております。

また、長井市においては第5次総合計画が提示され、また平成26年度の予算については、近年まれに見る大型予算122億円の予算を提示されております。みんなでつくる幸せに暮らせるまち長井を目指して、私たちもさまざまな取り組みについて検討、そして協力をしながら、市民の幸せに貢献できたらなという思いを込めて、今般については大きく2つについて質問をさせていただきますので、よろしく願い申し上げます。

第1項目めについては、大きく第5次総合計画の中で、特に農業分野について質問をさせていただきます。

1961年の農業基本法制定からもう既に半世紀を過ぎております。特に、昨年については、暮れに世界無形文化遺産として和食が制定されまして、まさに私たちが今まで取り組んできました地産地消の食や暮らしのあり方が世界から絶賛されているという状況であります。そうした中で、長井市民の農業の基礎づくりの、特に第5次総合計画、今後10年間の課題をどう整理されているのか、まず第1点目、市長の方針を伺いたいと思います。

2つ目、さきに述べました地産地消、いわゆる日本人の暮らし、長井市民の暮らしに合った食文化をさらに推進する意味で、食農推進の拡大の具体的な方策が私は今求められているものと思います。食べるということと同時に食糧を生産するというさまざまな施策、方針について、農林課長から今後の課題について、10年なり基本計画の前期5年間の計画でもよろしいですの